



佐藤健太さん
(写真右・総務課所属)

市職員の佐藤健太さんは、青年海外協力隊として、マラウイ地方自治省ンチェウ地方自治体で青少年への職業訓練やスポーツ大会の企画・実施、エイズ予防啓発等を行っています。このコーナーでは、マラウイのようすや、現地での活動を、佐藤さんのレポートによって紹介します。

マラウイの朝は早い。午前五時にはあいさつする声が聞こえ、人々は朝食と洗濯のための水をくみに井戸へ行きま。毎日、一家の女性が二十リットル程のバケツに水をい

ます。マラウイの朝は早い。午前五時にはあいさつする声が聞こえ、人々は朝食と洗濯のための水をくみに井戸へ行きま。毎日、一家の女性が二十リットル程のバケツに水をい

ZIKOMO 通 信

ジコモつうしん

第2回 Warm heart of Africa

ZIKOMO(ジコモ)とは、マラウイの言葉で「どうも」という意味です。

みなさん、ZIKOMO! 今回は、マラウイの人々のようすを紹介します。

マラウイの人々

「Warm heart of Africa」といわれるマラウイ。日本語で言えば「アフリカのやさしい心」。他のアフリカの国を知らないで比較はできないけれど、確かにこの国の人々はやさしい気がします。一度話をしたら、次からは友達。そのため道を歩いていると必ず声を掛けられます。「ケンタ、ケンタ...」僕には確認することができないくらい遠い場所からでも名前を呼ばれる。しかし僕を知らない人たちはいつも「チャイナ」を連呼します。隊員の中には、日本人というと金持ちと思われると思われるからと、そのままにしておく人もいます。しかし僕はやはり日本人なので、いつも大きい声で「ジャパンだよ! ジャ・パ・ン」と言い返します。

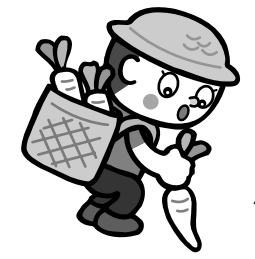
それで毎日子どもたちが楽しそうに学校に行く姿は日本と変わらない光景だなぁと感じます。(つづく)

つばいまで入れて運びます。さすがに手で運ぶのは困難なため、バケツを頭の上にのせて。想像つきますか? 重さ二十キロを頭の上のせて運ぶ女性の姿が。でも水くみは女性の仕事のため水をくみに行く男性はほとんど見ません。子どもたちは七時三十分からの始業にあわせて通学します。日本のようにすべての村や町に学校があるわけではないので、中には毎日山を越えてくる子どももいます。もちろん車やバスはないので徒歩。平均通学時間は一時間。教科書が一人一冊ないのでランドセルなどなく、ノートを砂糖の袋や買物袋に入れて持ち歩いていきます。



現地の子どもたちとともに

広瀬公園水泳プール 無料入場券
1人1回限りの無料入場券です。はさみで切り取ってお使いください。プールの開園時間等は27ページを参照してください。



市民利用者募集 農園

現在、市民農園に若干の空きがあります。皆さんも農園を活用し、野菜や花の栽培をお楽しみください。申し込みは先着順となりますので未利用区画がなくなり次第、締め切りとなります。なお、借受申込書は市公式ホームページからもダウンロードできます。

名称	所在地	区画面積	賃貸料	空き区画数
葦山ふれあい農園	四日町	約25㎡	7,000円/年	13区画
大仁ふるさと農園	長者原	約50㎡	5,000円/年	12区画

空き区画数は6月20日現在

問合せ 農業振興課 電話 055 948 1481
葦山支所地域振興課 電話 055 949 6802
大仁支所地域振興課 電話 0558 76 8002

* コピーは使用できません。
* 広報紙を切り取ってご利用ください。

自転車大会で準優勝
第三十九回子供自転車大会(地区大会)交通安全協会大仁地区支部主催)が伊豆市青羽根の狩野ドームで開かれました。伊豆の国市から三枝五子一ム(大仁小A・B、葦山南小A、長岡南小A・B)と、伊豆市から、四枝六チームの四十四人が出場し、団体戦、個人戦で順位を競いました。交通ルールなど学科テストの後、仲間や父母・先生たちの声援の中、安全確認動作やジグザグ進行の実技テストが行われました。結果は、大仁小



写真は準優勝の大仁小Aチーム

交通安全は家庭から

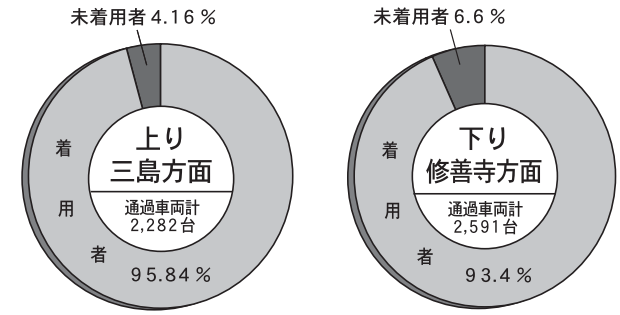


初心に帰って 交通安全!

皆さんこんにちは、ピースケ、ピーコです。今回は「交通安全の意識調査」の一環として、シートベルトのお話をしましょう。

無事故ドライバーに聞こう!
Q スバリ、ドライバーとして事故を起こさないコツはなんですか?
A 交通環境に応じてスピードを変えることですね。スピードを出さないように気をつけていますが、どこでもスピードを抑えるのではなく交通

交通指導員会では、少しでも交通事故が減少するよう活動の一環として、運転者の「交通安全」に対する気持ち、心構えを促すため、定期的にシートベルト調査を実施してきました。調査の結果、シートベルトの着用が法制化され今日まで二十年が経過している現状において、残念ながら、まだまだ未着用者が多いことが判明しました。シートベルト着用は「車を動かす者」としての基本。未着用は、運転中の偶発的な違反と違い、車をスタートした時点から違反(安全運転の欠如)です。どうか市民の皆さんは、基本的な安全運転に心



シートベルト着用調査結果
調査日時 平成17年5月21日、7月19日、平成18年2月5日、5月20日の4回 各1時間づつ(時間帯は不定)
調査箇所 国道136号 あっぱれ市場大仁店前

がけ、交通事故に注意しましょう! あなたは、着用していますか? 命、大切にしていますか?

安全は自らうち(家庭)から 地域から 夏の交通安全県民運動

7月11日(火)~20日(木)

子どもと高齢者の歩行中の交通事故防止 自転車の安全利用の推進

伊豆の国市では、今年すでに、3件の死亡事故が発生しています(6月20日現在)。交通ルール、交通マナーを守り、運転中は脇見をしない様に気をつけてください。

問合せ 安全対策課 電話 055 948 1412